

令和5年度 川口市立鳩ヶ谷中学校

2学年 シラバス(授業計画)

各教科の「学習目標」「学習計画」「評価の観点と方法」を記載しています。



評価・評定について

1 観点別評価について

(1) 全教科3観点で、それぞれの観点の目標の達成状況を次の3段階で評価する。

観点別評価の各観点…「知識・技能」「思考・判断・表現」「主体的に学習に取り組む態度等」

A：「十分満足できると判断されるもの」

B：「おおむね満足できると判断されるもの」

C：「努力を要すると判断されるもの」

(2) 評価基準の例 ※各教科で検討して設定する

A…80%以上の達成度

B…31%～79%の達成度

C…30%以下の達成度

2 評定について

(1) 評定

各教科における「評定」は、学習指導要領に示される各教科の目標に照らして設けられた観点の「観点別評価」を総括的に評価したものである。

5 : 「十分満足できると判断されるもののうち、特に高い程度のもの」

4 : 「十分満足できると判断されるもの」

3 : 「おおむね満足できると判断されるもの」

2 : 「努力を要すると判断されるもの」

1 : 「一層努力を要すると判断されるもの」

「斜線」：長欠等の理由で評価・評定が不可能だと判断されるもの

(2) 観点別学習状況の評価の評定への総括についての学校の規準

A…3点 / B…2点 / C…1点

3観点のパターン(例)	5段階の評定
AAA (9点)	5・4
AAB (8点)	4
ABB (7点)	3
BBB (6点)	3
BBC (5点)	3
BCC (4点)	2
CCC (3点)	2・1

令和5年度 第2学年「国語」シラバス

1 学習目標

- (1) 社会生活に必要な国語の知識や技能を身に付けるとともに、我が国の言語文化に親しんだり理解したりすることができるようにする。
- (2) 論理的に考える力や共感したり想像したりする力を養い、社会生活における人との関わりの中で伝え合う力を高め、自分の思いや考えを広げたり深めたりすることができるようにする。
- (3) 言葉がもつ価値を認識するとともに、読書を生活に役立て、我が国の言語文化を大切にして、思いや考えを伝え合おうとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	1 広がる学びへ	アイスプラネット 「聞く」問いを立てながら聞く 枕草子 熟語の構成 漢字に親しもう(1)	中間テスト
	5	2 多様な視点から	クマゼミ増加の原因を探る 魅力的な提案をしよう～プレゼンテーション	期末テスト 硬筆展
	6		漢字に親しもう(2) 文法への扉1〈単語をどう分ける〉 硬筆	
2 学期	7	3 情報社会を生きる 読書生活を豊かに 言葉と向き合う	メディアを比べよう 短歌に親しむ 短歌を味わう 言葉の力 言葉1 類義語・対義語・多義語	読書感想文 (夏休み宿題) 中間テスト
	9	4 人間のきずな	盆土産 字のないはがき 聞き上手になろう	期末テスト
	10		言葉2 敬語 漢字2 同じ訓・同じ音をもつ漢字 漢字に親しもう(3) 表現を工夫して書こう 手紙・電子メール 〈推敲〉表現の効果を考える	
	11	5 論理を捉えて	モアイは語る～地球の未来	
12	6 いにしへの心を訪ねる	源氏と平家 扇の的 徒然草 仁和寺にある法師 漢詩の風景 書初め 漢字に親しもう(4)	書初め展 (冬休み宿題)	
3 学期	1	7 読書に親しむ	本の世界を広げよう	期末テスト
	2		8 表現を見つめる	
	3	8 表現を見つめる	走れメロス 国語の学びを振り返ろう 文法への扉2・3 漢字に親しもう(5)(6)	

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、漢字小テスト、文法小テスト
思考・判断・表現	定期テスト、記述小テスト、スピーチ
主体的に学習に取り組む態度	ワーク、ノート、漢字練習帳の課題、暗唱テスト、授業の取り組み方

令和5年度 第2学年「数学」シラバス

1 学習目標

(1)文字を用いた式と連立二元一次方程式、平面図形と数学的な推論、一次関数、データの分布と確率などについての基礎的な概念や原理・法則などを理解するとともに、事象を数学化したり、数学的に解釈したり、数学的に表現・処理したりする技能を身に付けるようにする。

(2)文字を用いて数量の関係や法則などを考察する力、数学的な推論の過程に着目し、図形の性質や関係を論理的に考察し表現する力、関数関係に着目し、その特徴を表、式、グラフを相互に関連付けて考察する力、複数の集団のデータの分布に着目し、その傾向を比較して読み取り批判的に考察して判断したり、不確定な事象の起こりやすさについて考察したりする力を養う。

(3)数学的活動の楽しさや数学のよさを実感して粘り強く考え、数学を生活や学習に生かそうとする態度、問題解決の過程を振り返って評価・改善しようとする態度、多様な考えを認め、よりよく問題解決しようとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	1 式の計算	1-1 式の加法、減法 1-2 いろいろな多項式の計算 1-3 単項式の乗法、除法 2-1 文字式の利用	
	5			中間テスト
	6	2 連立方程式	1-1 連立方程式とその解 1-2 連立方程式の解き方 1 連立方程式の利用	
2 学期	7	3 1次関数	1 一次関数 2 一次関数の値の変化 3 一次関数のグラフ 4 一次関数の式を求めること	サマーアプローチ (夏休みの宿題)
	9		1 方程式とグラフ 2 連立方程式とグラフ 1 一次関数の利用	
	10	4 図形の調べ方	1-1 角と平行線 1-2 多角形の角 1-3 三角形の合同 2-1 証明とそのしくみ 2-2 証明の進め方	中間テスト
3 学期	11			期末テスト
	12	5 図形の性質と証明	1-1 二等辺三角形 1-2 直角三角形の合同 2-1 平行四辺形の性質 2-2 平行四辺形になるための条件 2-3 いろいろな四角形 2-4 平行線と面積 2-5 四角形の性質の利用	レポート、課題 (冬休みの宿題)
	1			
3 学期	2	6 場合の数と確率	1-1 確率の求め方 1-2 いろいろな確率 1-3 確率の利用	
	3	7 箱ひげ図とデータの活用	1-1 箱ひげ図 1-2 データを活用して、問題を解決しよう	学年末テスト

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、数学コンテスト等小テスト、授業に取り組む様子
思考・判断・表現	定期テスト、レポート、授業に取り組む様子
主体的に学習に取り組む態度	ワーク、ノート、レポート等の課題、章末の問題、授業に取り組む様子

令和5年度 第2学年「理科」シラバス

1 学習目標

自然の事物・現象に関わり、理科の見方・考え方を働かせ、見通しを持って観察、実験を行うことなどを通して、自然の事物・現象を科学的に探究するために必要な資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

(1) 自然の事物・現象についての理解を深め、科学的に探究するために必要な観察、実験などに関する基本的な技能を身に付けるようにする。

(2) 観察、実験などを行い、科学的に探究する力を養う。

(3) 自然の事物・現象に進んで関り、科学的に探究しようとする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	単元1 化学変化と原子と分子	1章 物質の成り立ち (熱分解、電気分解、元素記号、化学式、化学反応式)	中間テスト
	5		2章 いろいろな化学変化 (酸化、還元、硫黄と結びつく化学変化)	
	6		3章 化学変化と熱の出入り (発熱反応、吸熱反応) 4章 化学変化と物質の質量 (質量保存の法則、反応する物質の質量の割合)	
	7		単元2 生物の体のつくりとはたらき	
9	2章 植物の体のつくりとはたらき (葉のはたらき、葉のつくり、茎と葉のつくりとはたらき・つながり)			
2 学期	10	単元3 電流とその利用	3章 動物の体のつくりとはたらき (消化と吸収、呼吸、血液の循環、動物の行動、生物の体のつくりとはたらき)	中間テスト
	11		1章 電流と回路 (回路の電流、回路の電圧、回路の抵抗、電流とそのエネルギー)	
	12		2章 電流と磁界 (電流がつくる磁界、電流が磁界から受ける力、電磁誘導と発電) 3章 電流の正体 (静電気と力、静電気と放電、電流と電子、放射線とその利用)	
3 学期	1	単元4 気象のしくみと天気の変化	1章 気象観測 (気象と私たちの生活)	学年末テスト
	2		2章 気圧と風 (気圧とは何か、気圧配置と風)	
	3		3章 天気の変化 (空気中の水蒸気の変化、前線と天気の変化) 4章 日本の気象 (日本の気象の特徴、日本の四季、自然の恵みと気象災害)	

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、小テスト、パフォーマンステスト、
思考・判断・表現	定期テスト、レポート
主体的に学習に取り組む態度	提出物、振り返りシート、ノート、授業への取り組み姿勢、発言、長期休業明けテスト

令和5年度 第2学年「英語」シラバス

1 学習目標

第一学年までに培ってきた英語に対する興味・関心を生かし、様々な場面での言語活動につなげていく力を身につける

- ・自然な英語の発音で、場面に応じた対応ができるようになる。
- ・相手の話を理解した上で、返答をすることができる。相手の意見に対する自分の考えや意見を表現する。
- ・まとまりのある文章を読み、理解することができるようになる。
- ・社会の出来事や自分の身の回りのことに関して、自分の考えを文章にすることができるようになる。
- ・5ラウンドを通して、教科書の内容を自分の言葉で他者に伝えることができるようになる。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容		備考	
			5ラウンド	文法内容		
1 学期	4	Unit1 Hajin's Diary Unit2 Basketball Tournament Unit3 Plans for the Summer	Round1 リスニング	<ul style="list-style-type: none"> ・一般動詞の過去形 ・Be動詞の過去形 ・疑問詞When 	中間テスト	
	5			<ul style="list-style-type: none"> ・～すること 動名詞 ○○ing ・～すること to不定詞 (名詞的用法) ・I think (that) ・I'm sure (that) 		
	6			<ul style="list-style-type: none"> ・～するつもり be going to～ ・助動詞 will ・接続詞 If 		期末テスト
2 学期	7	Unit4 Tour in New York City Unit5 Earthquake Drill Unit6 Work Experience Unit7 Amazing Australia	Round2 文字と音の一致	<ul style="list-style-type: none"> ・～がある There is～ ・Show 人 モノ ・Tell 人 モノ ・～するための to不定詞 (形容詞的用法) 	Daily Life	
	9			<ul style="list-style-type: none"> ・～しなければならない have to～ / don't have to ・助動詞 must / must not ・助動詞 should / should not 		
	10			<ul style="list-style-type: none"> ・～するために to不定詞 (副詞的用法) ・接続詞 Because ・I'm glad to hear that 		中間テスト
	11			<ul style="list-style-type: none"> ・比較級 is ○○er than ・最上級 is the ○○est 		Daily Life
3 学期	12	Unit8 Staging a Musical	Round 4 穴あき音読	<ul style="list-style-type: none"> ・比較級 is more ○○ than ・最上級 is the most ○○ ・比較級 is as ○○ as / is not as ○○ as 	期末テスト	
	1			<ul style="list-style-type: none"> ・受け身 is performed～ / were written by ・make 人 形容詞 ・call 人 モノ ・want 人 不定詞 		
	2			Round 5 リテリング		学年末テスト
	3				1、2年生の復習 Daily Life	

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、単語テスト、休暇明けテスト、授業に取り組む様子 等
思考・判断・表現	定期テスト、スピーチテスト、ライティングテスト、授業に取り組む様子 等
主体的に学習に取り組む態度	提出物、自己評価シート、授業に取り組む様子 等

令和5年度 第2学年「社会科」シラバス

1 学習目標

<p>○我が国の国土に関して、地域の諸事象や地域的特色を理解するとともに、調査や諸資料から地理に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○地理に関わる事象の意味や意義、特色や相互の関連を、位置や分布、場所、人間と自然との相互関係などに着目して、多面的多角的に考察したり、課題の解決に向けて公正に選択・判断したりする力、思考・判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p> <p>○歴史の大きな流れを、世界の歴史を背景に、各時代の特色を踏まえて理解するとともに、諸資料から歴史に関する様々な情報を効果的に調べまとめる技能を身に付けるようにする。</p> <p>○歴史に関わる事象の意味や意義、伝統と文化の特色などを、時期や年代、推移、比較、相互の関連や現在とのつながりなどに着目して多面的多角的に考察したり、課題を把握し公正に選択・判断したりする力、思考判断したことを説明したり、それらを基に議論したりする力を養う。</p>
--

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	近世の日本	ヨーロッパ人との出会いと全国統一	中間テスト
	5		江戸幕府の成立と対外政策	
	6		産業の発達と幕府政治の動き	
	7	日本の地域的特色と地域区分		期末テスト
2 学期	9	日本の諸地域	九州地方	中間テスト
	10		中国四国地方	
	11		近畿地方 中部地方 関東地方	
	12		東北地方 北海道地方	期末テスト
3 学期	1	開国と近代日本の歩み	欧米における近代化の進展	学年末テスト
	2		欧米の進出と日本の開国 明治維新	
	3		日清・日露戦争と近代産業	

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、小テスト、授業のワークシート 等
思考・判断・表現	定期テスト、学びの地図(振り返り)、授業中のグループワーク 等
主体的に学習に取り組む態度	ワーク、学びの地図(振り返り)、授業への取り組み 等

令和5年度 第2学年「保健体育」シラバス

1 学習目標

- (1)運動の合理的な実践を通して、運動の楽しさや喜びを味わい、運動を豊かに実践することができるようにするため、運動、体力の必要性について理解するとともに、基本的な技能を身に付けるようにする。
- (2)運動についての自己の課題を発見し、合理的な解決に向けて思考し判断するとともに、自己や仲間の考えたことを他者に伝える力を養う。
- (3)運動における競争や協働の経験を通して、公正に取り組む、互いに協力する、自己の役割を果たす、一人一人の違いを認めようとするなどの意欲を育てるとともに、健康・安全に留意し、自己の最善を尽くして運動をする態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考	
1 学期	4	体づくり運動	オリエンテーション、集団行動	期末テスト	
	5	球技Ⅰ 武道	ソフトボール 柔道		
	6	保健	健康な生活と病気の予防②		
	7	水泳	水泳		
2 学期	9	陸上競技Ⅰ 器械運動	走り幅跳び マット運動		期末テスト
	10	運動会練習	運動会練習		
	10	陸上競技Ⅰ 器械運動	走り幅跳び マット運動		
	11	陸上競技Ⅱ	長距離走		
	12	ダンス 球技Ⅱ	フォークダンス、現代的なリズムのダンス 卓球		
	12	保健 体育理論	傷害の防止 p106～113 スポーツの意義や効果と学び方や安全な 行い方		
3 学期	1	ダンス 球技Ⅱ	フォークダンス、現代的なリズムのダンス 卓球		学年末テスト 球技大会等
	2	球技Ⅲ 球技Ⅳ	サッカー バスケットボール		
	3	保健	傷害の防止 p114～129		
	3	体づくり運動			

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、単元終了時の技能結果、発表会、ルール理解 等
思考・判断・表現	定期テスト、学習カード、練習方法などの工夫、仲間への声掛け 等
主体的に学習に取り組む態度	出欠、見学、忘れ物、提出物、服装、授業態度、安全の配慮 等

令和5年度 第2学年「音楽」シラバス

1 学習目標

- (1) 曲想と音楽の構造や挿入などのかかわりについて理解するとともに、創意工夫を生かした音楽表現をするために必要な歌唱、器楽、創作の技能を身につけるようにする。
- (2) 音楽のよさを味わいながら、曲にふさわしい音楽表現を創意工夫して表現する能力を高める。
- (3) 音楽活動の楽しさを体験することを通して、音楽文化に親しむとともに、音楽によって生活を明るく豊かなものにし、音楽に親しんでいく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	オリエンテーション 歌唱	合唱「輝くために」	
	5	鑑賞	交響曲第5番「運命」	
	6	創作	リズムアンサンブルを楽しもう リズムアンサンブルを作ろう！	期末テスト
	7			
2 学期	9	歌唱	合唱コンクール 自由曲	
	10			
	11	鑑賞	オペラ「コジ・ファン・トゥッテ」他	
	12	器楽	箏曲「さくら」	期末テスト
3 学期	1	歌唱	心の歌「荒城の月」	
	2	鑑賞	歌舞伎「勧進帳」	
	2	歌唱	卒業式の歌 国家、校歌	学年末テスト
	3			

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト、歌唱テスト
思考・判断・表現	歌唱テスト、ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、学習カード、授業態度

令和5年度 第2学年「美術」シラバス

1 学習目標

(1)対象や事象をとらえる造形的な視点について理解するとともに、意図に応じて自分の表現方法を追求し、創造的に表すことができるようにする。
 (2)自然の造形や美術作品などの造形的なよさや美しさ、表現の意図と工夫、機能性と洗練された美しさとの調和、美術の動きなどについて独創的・総合的に考え、主題を生み出し豊かに発想し構想を練ったり、美術や美術文化に対する見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
 (3)楽しく美術の活動に取り組み創造活動の喜びを味わい、美術を愛好する心情を培い、心豊かな生活を創造していく態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	1オリエンテーション		
		2平面制作	ある惑星の文字をつくる	
	5	3立体造形	小さな世界の物語	
	6	4鑑賞	西洋美術について	期末テスト
2 学期	7			
	9	5鑑賞	日本美術について①	
		6立体造形	オリジナル手ぬぐい制作	
	10			
	11			期末テスト
12				
3 学期	1	6鑑賞	日本美術について②	
		7平面制作	水墨画	学年末テスト
	2			
3				

3 評価の観点と方法



観点	方法
知識・技能	定期テスト、作品
思考・判断・表現	作品、作品カード、ワークシート
主体的に学習に取り組む態度	ワークシート、振り返りシート、授業態度

令和5年度 第2学年「技術・家庭 家庭分野」シラバス

1 学習目標

- (1) 家族・家庭の機能について理解を深め、家族・家庭、衣食住、消費や環境などについて、生活の自立に必要な基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
- (2) 家族・家庭や地域における生活の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価し、考察したことを論理的に表現するなど、これからの生活を展望して課題を解決する力を養う。
- (3) 自分と家族、家庭生活と地域との関わりを考え、家族や地域の人々と協働し、よりよい生活の実現に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4	食事の役割と中学生の栄養の特徴	1-1 どうして食事をするのだろう 1-2 私たちの食生活 1-3 栄養素ってなんだろう	
	5	中学生に必要な栄養を満たす食事	1-4 中学生に必要な栄養 2-1 食品に含まれる栄養素 2-2 何をどれくらい食べればよいか 2-3 バランスの良い献立作り	
	6	調理のための食品の選択と購入	3-1 食品の選択と購入 3-2 生鮮食品の特徴 3-3 加工食品の特徴 3-4 食品の保存と食中毒の防止	
2 学期	7	日常食の調理と地域の食文化	4-1 日常食の調理 4-2 野菜・いもの調理 4-3 肉の調理	調理実習(夏休みの宿題)
	9		4-4 魚の調理	
	10		4-5 日本の食文化と和食の調理 4-6 持続可能な食生活を目指して	中間テスト
3 学期	11		 技術分野 	
	12			
	1			
	2			
	3			

3 評価の観点と方法



観点	方法
知識・技能	定期テスト 小テスト 実技テスト等
思考・判断・表現	定期テスト 小テスト レポート等
主体的に学習に取り組む態度	振り返りシート 提出物 授業への取り組み等

令和5年度 第2学年「技術・家庭 技術分野」シラバス

1 学習目標

- (1) 生活と技術についての基礎的な理解を図るとともに、それらに係る技能を身に付けるようにする。
 (2) 生活や社会の中から問題を見いだして課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、表現するなど、課題を解決する力を養う。
 (3) よりよい生活の実現や持続可能な社会の構築に向けて、生活を工夫し創造しようとする実践的な態度を養う。

2 学習計画

学期	月	単元	学習内容	備考
1 学期	4		 家庭分野 	
	5			
	6			
2 学期	7			
	9			
	10	生活に役だつ機器を作りながら「技術」を考えよう ○生活や社会を支えるエネルギー変換の技術	(1) ア 電気、運動、熱の特性等の原理・法則と基礎的な技術の仕組み ☆身の回りの電気機器や機械等を具体例にし、仕組みや構造、安全な使用方法等も学習させる (1) イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えさせる ☆ニュース等で取り上げられている身近な環境問題を例に挙げたり、具体的にあげた機器の、誕生から現在までの進歩の過程等にも目を向けさせたりする	
	11	○エネルギー変換の技術による問題解決 ・電気回路の設計 ・目的の動きを作り出す機構	(2) ア 安全・適切な製作、実装、点検、調整 (2) イ 問題の発見と課題の設定、電気回路や力学的な機構などの構想と具現化、製作の過程や結果などの評価、改善および修正	
3 学期	12	「技術」を見る目を育てよう(エネルギー変換の技術から) ○社会の発展とエネルギー変換の技術	(3) ア 生活や社会、環境とのかかわりを踏まえた技術の概念について学習させる (3) イ 技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用について考えさせる	
	1	「技術」って何だろう ○生活や社会を支える生物育成の技術	※時季、天候等によりAの内容と並行して履修 (1) ア 生物の成長などの原理・法則と基礎的な技術の仕組みについて考えさせる ☆身の回りの食品や製品に目を向けさせる (1) イ 技術に込められた問題解決の工夫について考えさせる ☆ニュース等で取り上げられている身近な環境問題を例に挙げる	
		○生物育成の技術による問題解決	(2) ア 安全・適切な栽培または飼育、検査などを学習させる →栽培区を設定した牛畜実験	
	2		(2) イ 問題の発見と課題の設定、育成環境の調整方法の構想と育成計画、栽培又は飼育の過程や結果の評価、改善および修正を行わせる	
	3	「技術」を見る目を育てよう(生物育成の技術から) ○社会の発展と生物育成の技術	(3) ア 生活や社会、環境とのかかわりを踏まえた技術の概念について学習させる (3) イ 技術の評価、選択と管理・運用、改良と応用について考えさせる	

3 評価の観点と方法

観点	方法
知識・技能	定期テスト 実技テスト 小テスト等
思考・判断・表現	定期テスト プリント
主体的に学習に取り組む態度	提出物 授業への取り組み等